



発行所 磐城日日新聞社 福島県磐城市港通51 電話387番 編集人 櫻村清

小名浜名集 潮の華 磐城市小名浜港 株式会社 國華堂 電話 本店四六一番 支店一七七番

再刊に際して

磐城市長 立花秀吉



不党にして自由な立場にあるといふことである。又その経営上に於ても幾多の曲折を要する。

再刊を祝して

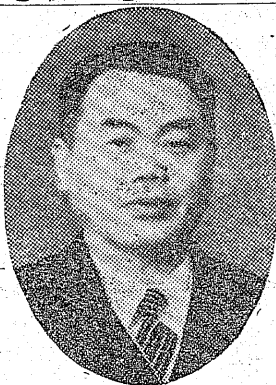
磐城市議会議長 長瀬彰義



環たる常磐地区開発の中が再刊の運びに至りまし。

再刊に當つて

県議會議員 小野義一



用する様な事業対策、道路網の整備がなかつた。

再刊を祝す

が名浜信用倉庫 理事 志賀要平 磐城市宇古港五五 電話二九番

社告

種々準備の都合がありますので、月末まで休刊、六月一日から新聞用扁平活字を使用し、日刊として発行致します。

磐城日日新聞社

磐城日日再刊を祝して

磐城市区長会連合会長 太田武彦

この見地から大磐城市発展の爲には磐城日日の使命は重大であり、磐城市と共に生きる新聞として、

市政施行以来磐城市は港市政と市民の緊密な連繫を以て郷土の発展は、文しく明るい新聞として、地域社会の発展と共に正しく明るい新聞として、

市として一大飛躍を見んとしてあるものであります。願くは磐城日日新聞社の諸賢が一層協力奮闘し、市民のより良き友として

市勢の発展は市民の協力と輿論の喚起にまたねばならず、再刊を心から祝福するものであります。

新報は一般に偏する事なく、あく迄公正な批判と、眞實を眞實と報道しなければならぬ責任を有して居り、

「新聞は公器なり」とのゆえんも亦此處にあるのであります。

「磐城日日」が再刊され出発して戴き度い。私達五万市民の代表である。私達五万市民の代表である。私達五万市民の代表である。

「磐城日日」が再刊され出発して戴き度い。私達五万市民の代表である。私達五万市民の代表である。私達五万市民の代表である。

「磐城日日」が再刊され出発して戴き度い。私達五万市民の代表である。私達五万市民の代表である。私達五万市民の代表である。

「磐城日日」が再刊され出発して戴き度い。私達五万市民の代表である。私達五万市民の代表である。私達五万市民の代表である。

「磐城日日」が再刊され出発して戴き度い。私達五万市民の代表である。私達五万市民の代表である。私達五万市民の代表である。

